

## 令和4年度事業報告について

公益財団法人予防接種リサーチセンター

# 令和4年度事業報告

## I 法人運営関係（法人会計）

### 1 理事会及び評議員会の開催

- 第38回理事会 令和4年 5月 18日
- ・令和3年度事業報告の承認
  - ・令和3年度収入支出決算の承認
  - ・理事及び監事の推薦の承認
  - ・役員等報酬規程の改正案の承認
  - ・評議員会の招集の決定 他
- 第13回評議員会 令和4年 6月 3日
- ・令和3年度事業報告の報告
  - ・令和3年度収入支出決算の承認
  - ・理事及び監事の選任
  - ・役員等報酬規程の改正の承認
  - ・令和4年度事業計画の報告
  - ・令和4年度収支予算等の報告 他
- 第39回理事会 令和4年 6月 3日
- ・理事長及び業務執行理事の選定
- 第40回理事会 令和4年 11月 9日
- ・令和4年度職務執行状況報告
  - ・「予防接種啓発普及の漫画冊子製作(案)」の報告 他
- 第41回理事会 令和5年 3月 8日
- ・令和5年度事業計画の承認
  - ・令和5年度収入支出予算の承認
  - ・業務執行理事の辞任の報告
  - ・令和4年度職務執行状況報告 他

### 2 公益財団法人としての公益事業の推進

公益財団法人としての社会的な要請に応えるため、財団の財政的基盤を強化し、公益事業を推進した。

このため、公益事業を効率的に行い、新規事業の開拓に努め、併せて事業執行体制の充実を図った。

### 3 公益事業の事務執行基盤等の整備

情報基盤・情報セキュリティの強化、文書管理の徹底、執務環境の整備に努めるとともに、常に経費の節減、効率的執行を図った。

## II 公益目的事業

安全で有効な予防接種推進事業として以下の公益目的事業を行った。

### 1 予防接種健康被害者保健福祉事業

#### (1) 運営委員会の開催

- 第 29 回運営委員会 令和 4 年 6 月 3 日
- ・令和 3 年度事業報告
  - ・令和 3 年度収入支出決算報告 他
- 第 30 回運営委員会 令和 4 年 11 月 9 日
- ・令和 4 年度職務執行状況報告  
(保健福祉相談事業関係の報告) 他
- 第 31 回運営委員会 令和 5 年 3 月 8 日
- ・令和 5 年度事業計画の報告
  - ・令和 5 年度収入支出予算の報告
  - ・令和 4 年度職務執行状況報告  
(保健福祉相談事業関係の報告) 他

#### (2) 予防接種健康被害者とその保護者に対する保健福祉相談支援活動の充実強化

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、地域における保健福祉相談支援活動においては、健康被害者の意向を尊重し、家庭訪問以外に電話による相談支援活動の充実を図るとともに、健康被害者宅への訪問に際しては感染防止対策を徹底し、感染のリスクを排除するよう周知した。

#### (3) 本部保健福祉相談員の活動

##### (i) 訪問・電話相談の状況

##### ア 訪問活動

##### A 本部相談員による訪問活動

新型コロナウイルスの感染状況下にあっても、予防接種健康被害認定後の健康被害者本人若しくはその保護者からの様々な相談に対して必要な支援を行った。<表 1 参照>

##### B 理学療法士による訪問活動

予防接種健康被害者の身体機能の維持、低下予防及び保護者の介護負担の軽減、補装具等の作成及び調整に関して、新型コロナウイルス感染予防対策を十分講じながら、理学療法士が直接訪問し指導した。 <表 2 参照>

<表 1>本部相談員による訪問

	令和4年度	令和3年度(参考)
訪問件数	10 件	7 件
a 家庭訪問	8 件	5 件
b 入所施設訪問	2 件	2 件

<表 2>理学療法士による訪問

	令和4年度	令和3年度(参考)
訪問件数	3 件	5 件
a 家庭訪問	3 件	5 件
b 入所施設訪問	0 件	0 件

イ 新たな健康被害者の把握

本人(家族等)から申し出があった認定被害者

令和4年度 1名 (令和3年度 0名)

ウ 電話相談(連絡)

健康被害者及びその保護者、地方保健福祉相談員、行政からの各種相談を受け、必要に応じた対応(情報・資料提供、状況確認等)を行った。

	令和4年度	令和3年度(参考)
電話相談(連絡)総数(A+B)	1, 243(522)	1, 050(383)
A 一般電話 (イ+ロ)	1, 237(522)	1, 025(383)
<受信>		
総数 イ	423(166)	368(126)
a 健康被害者、保護者から	73(28)	56(20)
b 地方保健福祉相談員から	295(113)	224(57)
c 行政、医師等から	30(6)	22(2)
d 施設等から	25(19)	66(47)
<送信>		
総数 ロ	814(356)	657(257)
a 健康被害者、保護者へ	215(64)	177(49)
b 地方保健福祉相談員へ	476(240)	329(121)
c 行政、医師等へ	56(14)	31(11)
d 施設等へ	67(38)	120(76)
B フリーダイアル 相談総数	6	25

※ ( ) はメール・ファックスの相談件数

(ii) 「保健福祉相談支援活動の手引」の見直し

保健福祉相談業務を円滑に推進するため、「保健福祉相談支援活動の手引」の見直しを行った。

(iii) 家庭訪問報告書（訪問・電話・関係機関連絡）への返信

地方保健福祉相談員からの相談支援活動報告書（訪問・電話・関係機関連絡）等の相談活動の報告に対して返信し、報告により得られた情報を共有するとともに、必要に応じて相談支援に関する助言・指導を行った。

返信数 令和4年度 446通（令和3年度 397通）

(3) 地方保健福祉相談員の訪問等の活動

(i) 地方保健福祉相談員の訪問・電話相談の状況

予防接種健康被害児（者）及びその保護者に対し、個々の状況や問題に応じた助言指導を行った。また、各種福祉サービスの利用に関しては居住地の福祉関係機関等と、健康・身体機能の維持等に関しては医療機関等との連絡調整を図り、必要な情報提供などの支援を行った。

訪問件数 令和4年度 335件（令和3年度 259件）  
電話相談件数 令和4年度 181件（令和3年度 204件）

(ii) 本部への訪問活動報告

予防接種健康被害者（児）及びその保護者に対して実施した活動内容や今後の支援方針等の報告書を作成提出し、これにより本部と情報を共有するとともに、連携して相談支援を行った。

(iii) 令和3年度末に在籍する地方保健福祉相談員の状況

地方保健福祉相談員数 53名  
（最高年齢 76歳 最低年齢 48歳 平均年齢 68.4歳）

地方保健福祉相談員の委嘱年別人数

委嘱年次	人数	構成比
平成6～平成10	3	5.7
平成11～平成15	4	7.5
平成16～平成20	9	17.0
平成21～平成25	11	20.7
平成26～平成30	10	18.9
平成31～	16	30.2
合計	53	100.0

#### (4) 講習会・研修会・検討会の開催

##### (i) 全国保健福祉相談員研修会の開催

保健福祉相談員の資質の向上を図り、相談支援活動に資するため、また、全国の保健福祉相談員間の情報・意見交換の場として研修会を開催した。

開催日：令和4年11月10日（木）～11日（金）

会場：チサンホテル浜松町

参加者：地方保健福祉相談員 30名

概要：成年後見制度の利用状況及びコロナ禍における各地方での相談支援活動状況とともに、経験の長い相談員による過去の活動事案の発表等を踏まえ、今後の支援活動のあり方等について活発な討議

##### (ii) 予防接種健康被害者家族等講習会の開催

健康被害者及び家族等を対象に、療養（育）、介護、福祉等に関する相談支援を行うために、講習会を東北地区と関東地区で開催した。

###### ア 第51回（東北地区）の開催

開催日：令和4年10月15日（土）

会場：仙台市「青葉カルチャーセンター」

参加人数：健康被害者家族等 17名 地方相談員 5名

本部相談員等 5名 厚生労働省 1名 行政 4名

概要：家族同士で日頃の生活について語り合い、福祉関係のサービス等についての様々な情報交換

###### イ 第52回（関東地区）の開催

開催日：令和4年11月26日（土）

会場：東京都千代田区「TKP 東京駅大手町カンファレンスセンター」

参加人数：健康被害者家族 18名 地方相談員 4名

本部相談員等 5名 厚生労働省 1名 行政 1名

概要：各参加者から、健康被害に遭われてからこれまでの経緯や日常生活の報告、また、日常苦勞していることやそれらに対する福祉行政サービスへの要望、どこに相談したらよいかなどの参加者同士の様々な情報交換

##### (iii) 事例検討会の開催

相談業務の充実を図るため、地方保健福祉相談員の報告書から問題を抽出し、その都度、本部内部で検討を行い、地方保健福祉相談員に助言指導を行った。

##### (iv) 保健福祉事業のあり方検討会の開催

厚生労働省から発出されている「予防接種健康被害者保健福祉事業費実施要綱」に基づき、本部及び地方保健福祉相談員の活動支援内容を検討し、より良い保健福祉事業に向けた内部検討を行った。

## (V) 新任地方保健福祉相談員オリエンテーション

新たに委嘱された地方保健福祉相談員を対象に、予防接種健康被害者への相談支援業務、相談支援活動の実際等についてオリエンテーションを行い、業務の円滑な引き継ぎが行われるように指導した。

令和4年度 6人（埼玉県、茨城県、熊本県、滋賀県、和歌山県、静岡県）

### (5) 研修会への参加

保健福祉相談事業における知識と技術向上を目的に本部相談員が各種研修等に参加し保健福祉相談支援活動の充実に資するよう努めているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催中止、又はリモート開催となってしまうため、第59回日本リハビリテーション医学会学術集会、てんかん基礎講座（東京 WEB 参加）のみの参加となった。

### (6) ホットライン電話相談

専門医が医療機関、市町村等から電話で予防接種に関する専門的相談を受けた。

相談日： 月・火・水・木・金（13：00～16：00）

相談件数： 令和4年度 2, 357件（令和3年度 1, 882件）

### (7) 健康管理支援事業

国の基金事業として行われた子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業により、予防接種を受け、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法によりワクチン接種と健康被害の因果関係が認められた者のための医療費・医療手当の支給などの健康管理支援事業を行った。

・申請受付件数 令和4年度 148件（令和3年度 154件）

### (8) 厚生労働省との業務打合せ

厚生労働省との十分な連携のもとに、国庫補助対象事業（予防接種健康被害者保健福祉相談事業等）の内容、実施体制等について精査し、保健福祉相談事業の一層の推進を図った。

### (9) 情報誌の発行

予防接種健康被害者及び保護者、関係者（行政機関等）への理解を深めるため、手記や生活に役立つ情報、障がい者の方が、地域で使える障害福祉サービスのほか、法律・制度の話、新型コロナウイルスに関する特別寄稿文などを掲載した「手つなぎ No. 103」を発行し、各種の情報提供を行った。



(本年度で終了の研究)

- ・「小児科医とその他の臨床医における感冒コロナウイルスと新型コロナウイルスに対する抗体応答、及び新型コロナウイルスワクチン接種が及ぼす影響の解析」 [森内浩幸(長崎大学大学院)]

## (2) 予防接種、感染症関係の学会へ加入、学術集会への参加等

予防接種、感染症関係の学会へ加入、学術集会への参加や国の厚生科学審議会予防接種分科会等を傍聴することにより、情報収集、発信力の強化に努めた。学会の学術集会等への参加は本年度は行わなかった。

## (3) 「予防接種に関する研究報告会」の開催

感染症、ワクチン、予防接種等に関する研究報告会を開催した。

開催日 : 令和5年2月19日(日)

会場 : 東京都新宿区「コンフォート新宿」

対象者 : 予防接種について研究、実施している医師等

参加者 : 41名

発表課題 : 10課題

## 4 啓発普及冊子の出版事業等

### (1) 予防接種ガイドライン等の発行

予防接種ガイドライン等を作成し、各都道府県・市町村及び医療従事者、保護者向けに一定部数は無償で配布するとともに、要望に応じて有料で頒布した。

- ・「予防接種ガイドライン 2023 年度版」(印刷部数 12 万部うち、無償配布約 4.1 万部)
- ・「予防接種と子どもの健康 2023 年度版」(印刷部数 90 万部うち、無償配布約 28.7 万部)
- ・「インフルエンザ・肺炎球菌感染症(B類疾病) 予防接種ガイドライン 2022 年度版」(印刷部数 11 万部うち、無償配布約 1 万部)
- ・「予防接種必携令和4年度」(印刷部数 4,300 部)

### (2) 「予防接種と子どもの健康」外国版の作成

「予防接種と子どもの健康 2022 年度版」の本文、予診票を翻訳し、当財団ホームページに掲載した。また、本年度より予診票の翻訳にウクライナ語を追加した。

本文 : 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語

予診票のみ : アラビア語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、モンゴル語、ロシア語、ウクライナ語

### (3) 予防接種啓発リーフレットの作成

平成26年度に厚生労働省の協力のもとに作成した、高齢者を対象とした「肺炎球菌ワクチン」のリーフレットを改訂し、ホームページに掲載した。

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月  
公益財団法人予防接種リサーチセンター